



TITLE:

表紙・執筆者紹介

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・執筆者紹介. 経済論叢 2010, 184(4)

ISSUE DATE:

2010-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/180053>

RIGHT:

經濟論叢

第 184 卷 第 4 号

特集 マルクス派最適成長論の展開と周辺問題

特集にあたって	大 西 広	1
「マルクス派最適成長論」の社会観・人間観	大 西 広	3
人口増加と技術進歩の同時停滞の可能性の検討	田 添 篤 史	27
線型効用最適成長 2 部門モデルにおける 価値・価格の動学	金 江 亮	37
Growth-Path Calibration and Panel Estimation of the Marxian Optimal Growth Model of the Japanese Economy	劉 洋	45
「前貸経済学」としての “Temporal Single System Interpretation”	森 本 壮 亮	57
論文 ターンプルの生涯と著作	田 中 秀 夫	71
査読付き論文 観光開発のあり方と地域の持続可能性	蔡 美 芳	81

經濟論叢 第 184 卷 総目録

平成 22 年 10 月

京都大學經濟學會

〔京都大学経済学会役員〕 (五十音順)

評 議 員 長 評 議 員 任 (学会主)	田 飯 依 稲 久 今 岩 岩 植 宇 宇 江 大 岡 川 菊 草 黒 小 坂 佐 澤 塩 島 神 末 栢	中 山 田 葉 保 城 本 田 高 仁 上 西 田 北 谷 野 澤 島 出 木 邊 地 本 事 松 山	秀 将 高 久 幸 秀 武 和 淳 宏 雅 知 英 達 真 隆 專 啓 紀 哲 直 千 泰	夫 晃 典 子 生 樹 和 弘 郎 幸 彦 広 弘 隆 弥 樹 文 孝 健 明 生 洋 朗 人 尋 生	(学会委員会) 副 主 任	武 竹 敦 徳 成 西 根 原 日 曳 久 久 藤 堀 松 文 諸 矢 遊 吉 劉 若 若 渡	石 澤 賀 賀 生 田 井 置 野 野 本 井 井 富 野 喜 田 井 林 林 辺	祐 貴 芳 達 祐 雅 良 弘 秀 憲 秀 和 啓 世 一 和 徳 克 直 靖 純	彰 丈 之 弘 彦 二 弘 憲 郎 孝 二 夫 樹 生 之 一 徹 剛 洋 男 強 俊 樹 永 子
(監 査 委 員)									
(監 査 委 員)									
(学 会 委 員)					(学 会 委 員)				

——既 刊 目 次——

第 184 卷 第 3 号

特集 会計制度の成立根拠と GAAP の現代的意義

特集にあたって	藤 井 秀 樹
U.S. GAAP の制度性	杉 本 徳 栄
IASB の正統性	山 田 康 裕
資産負債アプローチによる収益認識基準	松 本 敏 史
会計制度の変遷と原価評価の見直し	大 野 俊 雄
会計制度形成の現代的特徴と展開方向	藤 井 秀 樹
金融危機後の公正価値測定の動向とその特徴	草 野 真 樹
内部統制監査制度の比較制度分析	田 口 聡 志
総括と展望	藤 井 秀 樹

執筆者紹介（掲載順）

大	西	広	京都大学大学院経済学研究科教授	
田	添	篤	史	京都大学大学院経済学研究科学生
金	江	亮	京都大学大学院経済学研究科学生	
劉		洋	京都大学大学院経済学研究科学生	
森	本	壮	亮	京都大学大学院経済学研究科学生
田	中	秀	夫	京都大学大学院経済学研究科教授
蔡		美	芳	京都大学大学院経済学研究科学生

会員各位へ 会費は下記あて御納入下さるようお願いいたします。

1. 会費納入先 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部内
京 都 大 学 経 済 学 会
振替口座 01090-6-17219 番
1. 会費年額 10,000 円（前納）
1. 会員各位の現住所、氏名、卒業年次、就職先を学会まで御通知下さい。
- ※ 会員外の雑誌購入は有斐閣へお申込み下さい。

平成22年9月25日印刷
平成22年10月1日発行

編集兼
発行人

京 都 大 学 経 済 学 会

制 作 所

京 都 大 学 学 術 出 版 会
606-8315 京都市左京区吉田近衛町69

発 行 所

京 都 大 学 経 済 学 会
606-8501 京都市左京区吉田本町
振替口座01090-6-17219番

発 売 所

株式会社 有 斐 閣
101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
京都支店 606-8225 左京区田中門前町44

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 184, No. 4

October 2010

CONTENTS

Special Issue : The Marxian Optimal Growth Model and Its Related Issues

Preface *Hiroshi ONISHI*

Society and Human Being in the Marxian Optimal Growth Theory :

Human Being, Nature, Production and Superstructure *Hiroshi ONISHI*

The Possibility of Both Population and Technology Being Stagnate *Atsushi TAZOE*

Dynamics of Value and Price Under A Linear Utility and Optimal

Growth Two Sector Model *Ryo KANAE*

Growth-Path Calibration and Panel Estimation of the Marxian Optimal

Growth Model of the Japanese Economy *Yang LIU*

“Temporal Single System Interpretation” as “Advance Economics” :

An Interpretation from a Viewpoint of History of Economic Thought

..... *Sousuke MORIMOTO*

General Article :

The Life and Writings of George Turnbull *Hideo TANAKA*

Refereed Article :

Tourism and Sustainable Development in Regional Areas :

A Case Study of Media-induced Tourism in Taiwan *Mei-fang TSAI*

Complete Index to Vol. 184

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)